

この秋、アート森になる
~Tobemori Open Air Museum~

えがお

えひめ愛顔の 子ども芸術祭 2025

ehime
kodomo art festival

10.18(土) - 11.3(月) 祝

[会場]
えひめこどもの城 園内各地

身体表現作品 **パフォーマンス** 部門募集!

応募締切日 **2025.6.10(火) 必着**

※応募方法は応募フォームまたは郵送・持参にて
(詳しくは裏面をご覧ください)

えがお えひめ愛顔の子ども芸術祭とは？

えひめ愛顔の子ども芸術祭は、自然の中での創作や鑑賞、遊び等を通じて、子どもたち一人ひとりの個性を伸ばし、新たな可能性の発見を目指すとともに、誰もが気軽にアートに触れ、愛顔で楽しめることを目的とし、2025年で6回目の開催となります。テーマは「森のいのち」。森の中にある様々な植物や生き物を通じて、自然とのつながりや大切さを学びながら創作する作品を募集、展示します。

今回の募集作品は「身体表現部門(パフォーマンス)」の作品とし、作品制作を通じて、様々な視点からこどもの城の豊かな自然について考え、親しみ、愉しめる作品を期待しています。

皆さんのご応募をお待ちしています。

パフォーマンス作品募集要項

ダンス、演劇、楽器演奏、朗読、園内の景観を活かしたパフォーマンスのほか、えひめこどもの城を訪れる子どもたちも参加できるようなパフォーマンスなどジャンルは問いません。身体表現(パフォーマンス)の自由な作品をお待ちしています。

応募に関する詳細は
公式HPをご確認ください。



応募対象について

未就学児から高校生までの個人またはグループ
(15歳から18歳までの社会人を含む)
※応募時もしくは発表時に対象年齢となる方も対象。

条件

10月18日のオープニングイベントでの発表及び期間中に園内に
て2・3回発表できること。ステージや園内各地にて発表すること。

作品発表候補場所

園内の道や茂みの中、ステージ等どこでも表
現が可能です。ただし、具体的な場所につい
ては、こどもの城との相談により決定します。

※園内の様子は2次元コードよりご覧ください。
<https://ehime-kodomoartfestival.com/360photo-movie>

園内の様子を
360度画像や
映像で
確認できます！



応募料

無料 ※応募に係る費用は申請者負担となります。

賞

賞状・副賞あり

応募方法

応募用紙を下記のURLまたは2次元コードよりダウンロードしていただき
ご記入の上、映像データと併せて応募フォーム、郵送または持参にて
提出してください。

応募用紙について

【表面】出品者情報+発表内容+発表希望場所
+発表時間など

【裏面】作品スケッチ+作品設置希望場所

<https://ehime-kodomoartfestival.com/oubo2/>



応募フォームの場合

- 応募用紙はPDFファイル形式にてお送りください。
- 応募用紙のPDFファイル名は「<氏名>_oubo.pdf」としてください。
- 送信データサイズはトータルで5MB以内とします。

<https://forms.gle/J86gfrpgpHCRwRvv7>

※映像データなど容量が大きい場合は、ギガファイル便等に別途提出ください。
提出先：えひめ愛顔の子ども芸術祭 <ehime.egaokidsart@gmail.com>



郵送の場合

※応募書類は返却しません。

応募用紙送付先

〒791-1135 愛媛県松山市西野町乙108番地1
えひめ愛顔の子ども芸術祭事務局 宛

応募から芸術祭までの流れ

●6月10日(火)▶ 作品プラン応募締切日

提出いただくプランシートと映像については、本芸術祭開催期間中、会場に展示します。

●6月下旬▶ 審査(映像審査)

応募されたプランシート及び映像による選考を実施します。
審査結果は7月9日(水)までにメールにてお送りします。

●8月6日(水)・7日(木)▶ ワークショップ

各部門で選ばれた作品の出品者が、えひめこどもの城に一堂に会し、本番に向けた作品制作のブラッシュアップを行います。プロフェッショナルの伴走によって、創作技術の向上を目指すと共に、出展者同士が交流する機会です。

●10月18日(土)-11月3日(月・祝)

えひめ愛顔の子ども芸術祭2025

アドバイスチーム/プロフィール

敷村 一元 (しきむら かずもと)

えひめこどもの城園長。子どもと保護者の声に耳を傾け、子どもが安心して様々な遊びに取り組めるようなサポートを続けている。また、PTAや公民館、子ども会などでコミュニケーションワークショップ、劇団「夢邪気」の公演、表現あそびワークショップなど、地域と子どもを繋ぐ活動を幅広く実施。

中村 和憲 (なかむら かずのり)

作曲家・音楽ディレクター。作曲家として「この世界に元々流れている音楽を見つけること」を大切に、舞台芸術をはじめ多くの楽曲制作に携わる。これまで延べ600校を超える学校・地域で講演やワークショップを重ね「一人ひとりの未来を輝かせるために」をテーマに命の意味とそれを輝かせる素晴らしさを分かち合っている。

お問い合わせ

えひめ愛顔の子ども芸術祭事務局
〒791-1135 愛媛県松山市西野町乙108番地1

TEL.089-963-3300
FAX.089-963-4990

art.venture.ehime
愛媛県 × 東京藝大 / art.venture.ehime